

## 12月8日 とめよう！原発依存社会への暴走 関電包囲大集会に800人が参加！

女川原発の10月の再稼働をきっかけに政府は再稼働が遅れていた沸騰水型原発の再稼働を進めようとしている。8日には島根原発2号機が再稼働され、その次には柏崎刈羽原発の再稼働を強行しようとしている。今年1月の能登半島大地震は地震大国である日本には原発を安全に稼働できる場所はないことを示した。また日本中の原発は老朽化しており物理的寿命からも廃炉にするしかない現状である。



中島哲演挨拶

集会は関電本社に向けた「原発は直ちに廃炉に」のコールから始まった。

### 中島哲演さんの開会の挨拶

中島さんは主催者挨拶で「自民党への献金が問題となっているが、関電は正月には総理大臣に何千万もの献金をしてきた。その結果、若狭は「原発銀座」から「原発廃棄物の墓場」になろうとしている。原発敷地には広島型原爆120発分もの核のゴミが残されている。原発廃炉のために各野党を含む大運動を起こしていこう」と述べた。

### 原発依存への暴走を止めよう

平尾前米原市長からは、12月8日が太平洋戦争の開始日であり、戦争は最大の人権侵害であること。韓国での戒厳令を民衆が体を張って阻止したところこそが民主主義である。尊敬したい。

老朽原発うごかすな！の木原さんは世界は自然エネルギーへ動いている。日本も早く転換すべきだ。政治では労使協調の国民民主党が原発推進に向かっており危険だ。

続いて反原発の各政党からの挨拶がおこなわれた。名古屋、京都の原発関連訴訟団、労働組合からの挨拶があった。全国24団体からのメッセージが紹介された。最後に集会アピールが読み上げられ、全体で採択された。

### 西梅田公園から梅田までデモ行進

集会には開会前から続々と市民が参加し、約800人で集会が開かれた。風が強く寒い中でも、西梅田公園から梅田までのデモは約750人の隊列で展開された。約1時間梅田を大回りして多くの市民に原発廃炉を訴えた。



反原発野党挨拶



12/8 デモ

## 祝 日本原水爆被害者団体協議会の2024年度ノーベル平和賞受賞 核兵器の廃絶と戦争のない世界をめざして共に闘おう！

### <日本被団協の闘いのあゆみ>

- 1945 広島、長崎に米軍が原爆投下
- 1954 ビキニ水爆で第5福竜丸被爆
- 1956 日本被団協が結成された
- 核兵器廃絶と原爆被害の国家補償
- 1957 「原爆医療法」=不十分
- 運動を積み重ね「原爆特別措置法」
- 1977 国連 NGO「被爆問題シンポ」
- 1978 国連軍縮特別総会に代表団を
- 1978 外国人被爆者手帳取得裁判勝利
- 1994 原爆被爆者援護に関する法律
- 被団協はあくまで国家補償を要求
- 2001 「21世紀被爆者宣言」を発表し、「核兵器も戦争もない 21世紀」をめざして生き、語り、たたかう決意を表明
- 2005 国連での原爆展、NPT(核兵器不拡散条約)に参加
- 原爆症認定集団訴訟を全国で提訴し認定を要求し集団訴訟中
- 2016 「ヒバクシャ国際署名」をよびかけ
- 2017 核兵器禁止条約が国連で採択
- 2021 核兵器禁止条約が発効
- 2024 日本被団協にノーベル平和賞

ノーベル委員会は、まず「『ヒバクシャ』としての草の根運動が、核兵器のない世界の実現に尽力し、核兵器が二度と使われてはならないことを証言してきたこと」、さらに「80年近く、戦争で核兵器が使用されなかった」ことを授賞理由とする。そして「この核兵器使用のタブーがいま圧力の下にあることを憂慮する」としている。

日本被団協のノーベル平和賞受賞は、核兵器と戦争のない世界をめざし闘っている全ての人々とともに喜び感謝するものである。

広島・長崎の被爆者、そして全国の空襲被害者を含む民間人戦災者が国家補償の対象外とされ、80年ものあいだ正当な権利を剥奪されている状況にあることを忘れてはならない。



被団協の結成



森滝市郎と被団協



被団協のデモ

**北海道核ゴミ調査報告／知事は反対** (朝日 11/23)

原子力発電環境整備機構(MUMO)は北海道の2町村で実施した「文献調査」の報告書を北海道知事等に提出。知事は機構の理事長に対して、「国民的議論が深まっていない」等として概要調査に反対すると伝えた。知事が了承しない限り調査は中止となる。

**国民民主の玉木代表原発新增設を** (朝日 11/28)

国民民主の玉木代表は27日に首相官邸で石破首相と面談した。玉木は、政府が改訂作業を進めている次期エネルギー基本計画に、原発の新增設など国民民主の主張を反映するように求めた。原発関連の一部労働組合の要求を反映したものであり、国民の安全と無関係な、企業の要求の代弁に過ぎない。

**エネ基本計画に「原発建替え推進」を** (神戸 12/7)

年内に予定されている「エネルギー基本計画」改正に対して、自民党の提言案では、「次世代革新炉のの新規建設を着実に進める」として原発の建て替え推進を要求している。また原発の新規建設に関して、「様々な法手続きの円滑化に最大限取り組む」と強調して、政府の建設支援を促している。

**島しょ防衛で日米豪演習** (神戸 12/7)

陸自と米・豪軍による共同指揮所演習「ヤマサクラ」が6日に開始。14日迄の予定で東京の浅香駐屯地と熊本の健軍駐屯地に、陸自5500人、米軍1350人、豪軍2500人を動員して過去最大規模で行われる。侵攻阻止、奪還などの水陸両用作戦と宇宙など新領域の対応をシミュレーションする予定である。

**韓国のヒロシマから授賞式に** (朝日 12/7)

12月10日にノルウェーでノーベル平和賞の授賞式が行われる。被団協の代表団には韓国原爆被害者協会の鄭源述(チョンウオンスル)会長も参加する。広島では多くの朝鮮人が被爆したが、帰国した在外被爆者には日本政府の援護法は適用されず、非常に困難な生活を強いられてきた。

**案内 12/20 原発いらナイト in 宝塚 141回**

「原発いらナイト in 宝塚」の141回は、一週間早い12月20日の5時から宝塚駅連絡橋で実行します。サキソフォン演奏の下、楽しく一緒にチラシを配付しましょう。

**案内 12/22 なぜ、中国侵略を問題にするのか**



沖縄をはじめ全国の基地が増強され、日米軍事演習が日常化する中で、日本の中国侵略の歴史を再確認する。  
日時:12月22日(日)13:30分より  
場所:エルおおさか南館 101号室  
講師:森 正孝  
映画:「細菌戦部隊・731」(森正孝)  
主催:参戦と天皇制に反対する連続行動

**案内 12/22 知事選に異議あり！真相究明集会**



立花候補による2馬力選挙、多くのデマが流された公選法違反の知事選挙。12月5日には選管に「選挙無効」も提出。皆で論議し、兵庫県を取戻しましょう。  
日時:12月22日(日)14:00分より  
場所:神戸市教育会館 大ホール  
主催:兵庫県知事選挙を振り返る市民の会

**案内 12/28 神戸朝鮮高級学校コンサート**



政府は朝鮮学校を無償化の対象から除外。宝塚ではそれに抗議して、「吹奏楽と詩の夕べ」実行委が結成され、朝鮮高級学校と連帯して「神戸朝鮮高級学校コンサート」を開催してきた。今年は第15回。  
日時:12月28日(土)14:00分より  
場所:宝塚ソリオ1 ソリオホール

**案内 1/13 戦争へとむかう教育を許さない！**

来年の1月13日は「戦争教科書」はいらない！集会

日本戦没学生記念会(わだつみ会)機関誌

闘いの課題を特集／ぜひご購入ください

**「わだつみのこえ」 No161 (発行:2024年12月23日)**



定価1000円+税  
編集部に連絡いただければ料金後納で送付。

**【特集 8・18 日本戦没学生記念会平和集会】**

岸田政権の大軍拡と戦争準備にNO！

池田五律

**【特集 軍拡・戦争準備と闘う各地の闘い】**

日米の「対中国戦争態勢」とは何か

高井弘之

東アジアでの戦争を止め、平和と共生のアジアを

戦争する国へ 未来の死者の声を聞け(新垣邦雄) 軍事優先国家日本の大分から声をあげる(池田年宏) 佐賀オスプレイ基地建設反対(豊島耕一)

呉を再び「軍都」にするな！(西岡由紀夫) 戦争がやってくる！祝園弾薬庫建設(八木建彦) 基地強化・戦争準備づくりをとめ、平和の実現(滝川順朗)

未完の交差的連帯 終わらない虐殺の中で考えること

役重善洋

戦争を準備する軍学共同と日本学術会議「法人化」

小寺隆幸

「鶴野飛行場跡」の展示は平和教育に反する

田中正志

深刻になる過労死の現状

田村和男

瀬戸内海を未来に引き継いでいけるのか

末田一秀

治安維持法で捕まった国民学校の朝鮮人の子供たち

宋 実成

書評「海の城 海軍少年兵の手記」「戦艦武蔵の最期」

松岡 勲

わだつみ会 2024 秋期理事会報告、関西わだつみ会報告